

# みどりの風を感じる大都市 オール大阪で『海と山をつなぐみどりの東西軸』を形成！



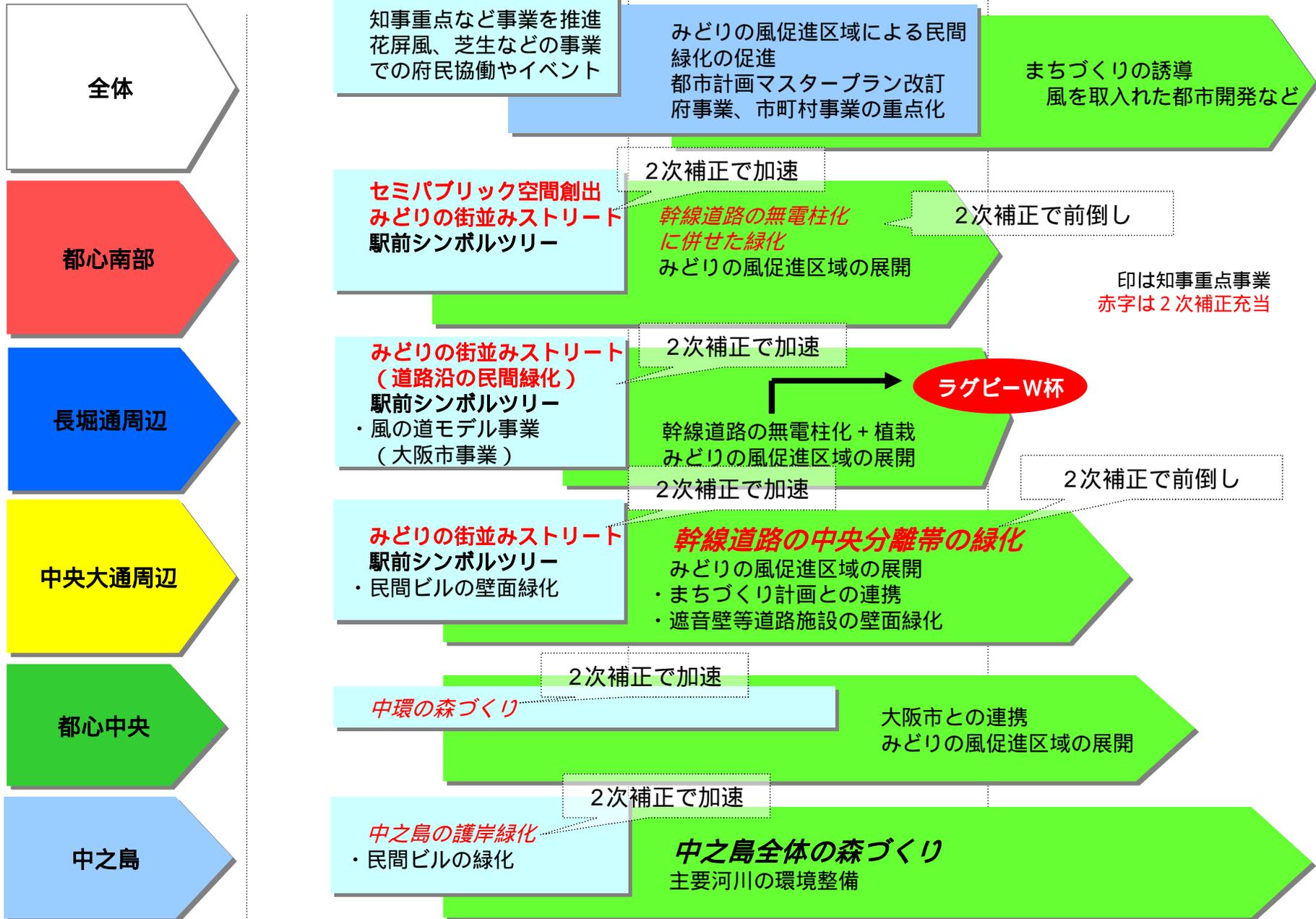
「都市計画区域マスタープラン」にも「みどりの風の軸」を位置づけ、都市構造の変革に長期的観点で取り組む。更なる民間緑化誘導や、官民協働での「みどりのセミパブリック空間」形成に向け「みどりの風促進区域」を設定。みどりの軸線とミュージアム展示品を結びつけるほか、多様なイベントを織り交ぜ、みどりで大阪の魅力を向上。

# 2次補正を活用した取組み加速プラン

前期(H22~27)

中期(H27~32)

後期(H32~37)



# みどりの風を感じる大都市の形成に向けて

~ H21      H22      H23      H24      H25 ~ H37

具体的目標  
の設定

「みどりの大阪推進計画」の策定(H21.12)  
(H37目標) 「みどりがあると感じる府民の割合」 :約5割      約8割  
市街化区域の「緑被率(樹林+草地)」: 13.9%(H14)      20%

推進体制  
の整備

庁内関係部局の連携強化 「みどりの大阪推進計画ヘッドクォーター会議」の設置

みどりの風アクションプランの策定・実施

効果検証の上、改定を検討

トータルでの  
事業展開  
(制度・事業)

重点事業の展開

2次補正予算の活用

東西軸を中心に実感できる  
みどりづくり

セミパブリック空間創出事業(都整)

官民一体での軸線形成

みどりの街並みストリート事業(環農)

軸沿いの建築物緑化  
みどりを実感できるシンボル樹  
の植栽

既存事業の重点化(H22~)

公共事業(道路・河川等)

公立小学校の芝生化推進(環農)

幅広い府民参加でみどりづくり

重点事業を契機にさらなる展開

東西軸を中心に民間緑化を誘導  
東西軸を中心に公共投資を重点化  
重点事業で効果を“見える化”

規制誘導策への共感を得る  
民間の自主取組みの促進  
基金の増収を期待

「府都市計画区域マスタープラン」改定(H22末~)

民間開発等、まちづくりの誘導

「みどりの風促進区域」の設定(H23~)

民間緑化の更なる強化に向けた規制・誘導

地域力の活用やCSRへの期待

芝生、ミュージアムなど地域の取組みとの連動

将来ビジョン・大阪

オール大阪で

(想定)みどりの  
ボリューム

目標達成に必要な新たなみどりの量 約4,000~5,000ha  
知事重点事業を契機にみどりの風促進区域等に取組み、従来ペースを期間内に加速(年平均170ha 340ha)

みどりの風を感じる大都市の実現